



ウルトラトレイル・マウントフジ 2018 運営計画書

Ver.3 2018年2月22日

ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会



目 次

I .大会概要	3
II .競技規則	10
III .安全管理体制及びコースの迂回について	18
IV . 大会実施における自然環境への配慮した大会実施について	21



I.大会概要

1.大会開催要項

大会名	ウルトラトレイル・マウントフジ 2018 「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI 2018」(第6回目)
開催日	2018年4月27日(金)~29日(日) 3日間
エントリー期間	<ul style="list-style-type: none"> ・一次募集 国内在住者:2017年10月16日(月)12時~10月29日(日)23時59分 抽選制 <li style="padding-left: 20px;">2017年11月21日(火)12時~当選発表 <li style="padding-left: 20px;">2017年12月5日(火)23時59分 入金期限 海外在住者:2017年10月16日(月)12時~12月15日(金) 先着制 ・UTWT関係スポンサー選手締め切り 2018年2月末 ・二次募集(国内在住者のみ対象:未入金者等分のみ実施) <li style="padding-left: 20px;">2018年1月9日(火)12時~ 先着制(クレジット決済のみ)
競技種目	<p>UTMF(ウルトラトレイル・マウントフジ)</p> <p>:距離 168km 累積標高差 約8,100m(時計回り)</p> <p>46時間制限(スタート時間:4月27日15時/最終制限時刻:4月29日13時)</p> <p>募集人数:1,400名 うち海外400名</p> <p>STY(静岡から山梨(英名=SHIZUOKA To YAMANASHI))</p> <p>:距離 92km 累積標高差 4,100m(時計回り)</p> <p>20時間制限(スタート時間4月27日12時/最終制限時刻:4月28日8時)</p> <p>募集人数:1,000名 うち海外200名</p>
開催場所	<p>富士山麓(静岡県富士市、富士宮市、山梨県身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート会場(UTMF/STY) :静岡県富士市 富士山こどもの国・草原の広場 ・フィニッシュ会場(UTMF/STY):山梨県富士河口湖町 大池公園
主催	<p>ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会</p> <p>(NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部、富士市、富士宮市、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村、御殿場市、一般財団法人アールビーズスポーツ財団)</p>
後援	<p>在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、外務省、スポーツ庁、観光庁、道志村、山梨県、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix、UTMB®</p>
特別協賛	<p>株式会社ゴールドウイン(THE NORTH FACE)、日本ゴア株式会社</p>
名誉実行委員長	三浦雄一郎(プロスキーヤー・冒険家)
名誉実行委員	実行委員会構成9自治体首長
実行委員長	鍋木毅(NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部代表理事/プロトレイルランナー)
コンセプト	<p>総距離100マイルにもおよぶ富士山の山麓、登山道、歩道、林道などを走りつなぎます。他に例のないアウトドアイベントを通して、自らに挑戦することの大切さと、トレイルランニングの魅力を紹介します。また、どこから見ても美しい富士山の文化と自然環境の素晴らしさを国内外に伝えていくものです。</p>



大会の理念	<p>「自分自身を探究する」</p> <p>この大会は他の選手に勝つことやスピードを競うことが目的ではありません。富士山を巡る170kmの長いトレイルの走破は人力による旅への挑戦です。自らの肉体と精神の可能性を押し広げ、その限界を見極めることを目指します。</p> <p>「自然環境を尊ぶ精神を養う」</p> <p>日本には古くから自然と共に生きる文化がありました。しかし、現代人はそれを見失いがちではないでしょうか。この大会ではトレイルランニングというアウトドアスポーツを通じ、参加者が自然との共存を実感し、自然を愛し敬う精神を養うことを目指します。</p> <p>「すべての人々とトレイルを共有する」</p> <p>トレイルは、山で暮らし、働き、楽しむ、たくさんの人々の営みから作られたものです。その先人たちに敬意を払い、われわれ以外のトレイルを利用する人々とも、その価値を共有し、お互いを尊重し、感動を分かち合うことを目指します。</p>
大会の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・100 マイルを超えるトレイルランニングレース。(国内最長) ・世界最高峰:UTMB®と精神を共有する世界初の姉妹大会 ・ウルトラトレイル・ワールドツアー(UTWT)国内唯一の加盟大会 ・地域の自治体・ボランティアの力強い協力により実現 ・エイドステーション(休憩所)を交流の場とし地域の魅力を伝える ・夏山登山だけでなく富士山周辺アウトドアの魅力を世界に伝える ・自然環境に配慮したコース設定と影響調査の実施、競技ルールの徹底
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日に 18 歳以上の男女で、コースを迷うことなく制限時間内に完走できること。 ・大会エントリー開始日の3年前から前日までの間に、国際トレイルランニング協会(ITRA)がポイントを認定しているレースに出場・完走し、下記の規定ポイントを獲得すること。 <p>ただし最低1レースはエントリー開始日の1年前から前日までに開催されるレースとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UTMF 最大3レースで12ポイント以上 ・STY 最大2レースで5ポイント以上 <p><備考></p> <ul style="list-style-type: none"> *UTMF2016において男子100位以内、女子20位以内で完走された方には優先エントリー権を付与します。
参加条件	<ol style="list-style-type: none"> 1.レースの距離と、山岳地を一昼夜以上走り続けるという特殊性を十分認識し、必要な訓練を行なっていること。 2.この種のレースで起こりうる問題に対して、自ら対処できる能力を有していること。 3.山岳地で予測されるトラブルや天候の悪化など(低温、強風、雨や雪)に、他に頼ることなく自ら対処できること。 4.極限的な疲労、内臓・消化器官の不具合、筋肉などの痛み、軽度のけがが引き起こす肉体的、精神的問題に対して自ら対処できること。 5.1)から4)の問題については自らが克服することであり、大会組織が責任を負うものではないと十分認識していること。 6.自然の中での活動において、安全にかかわる問題に直面した場合、自らがそれぞれの能力に依って対応しなければならないことを十分認識していること。 7.大会出場中の選手の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は主催者に属するものとします。 <p>※2018年のレースにおいて、上記の参加条件に反する行為があった場合は2019年への参加をお断りすることがあります。</p>



2. イベント

1) UTMF EXPO

大会スポンサーおよび出展者の関係各社が一同に会する日本最大級のトレイルランニングに関する展示・販売。

<日時・会場> ※ブースにより営業時間が異なる場合があります。

4月26日 13時～22時30分 @大池公園
4月27日 8時～16時 @富士山こどもの国
4月27日 20時～ 4月28日 17時 @大池公園
4月29日 9時～13時 @大池公園

2) Cheer park(ちあばーく)

スタート会場の富士山こどもの国で応援者や観光客のみなさんが快適に観戦・休憩できるスペース。

<日時・会場>

4月27日 8時～16時 @富士山こどもの国

3) Marche(マルシェ)

地元グルメも提供する飲食・物販店

各店舗で、スピードくじ対応商品(一品)を購入して、「アタリ・ハズレ」や枚数に応じて景品と交換。

<日時・会場>

4月27日 8時～16時 @富士山こどもの国 6店舗予定
4月28日 9時～18時 @大池公園 6店舗予定
4月29日 9時～13時 @大池公園 6店舗予定
景品交換所:市町村PRブース @富士山こどもの国、@大池公園

4) Midnight bar@KAWAGUCHIKO(ミッドナイトバル)

大会初日の STY トップから STY 全完走者、そして UTMF トップ選手が到着するまでオールナイトで飲食ブースを展開。

<日時・会場>

4月27日 20時～4月28日 10時 @大池公園

5) 湯めぐりスタンプラリー

大会時はもちろん大会以外の試走時にも利用できるトレイルランナーのためのお得な日帰り入浴プランがついたスタンプラリー。

スタンプラリー大会時に景品と交換(スタンプ3つより)。

景品交換所:市町村PRブース

<日時>

2017年11月1日～2018年4月29日

<会場> 静岡県、山梨県内日帰り温泉施設 11箇所

静岡県:須走温泉天恵(小山町)、小山町町民いこいの家あしがら温泉(小山町)、

ごてんば市温泉会館(御殿場市)、

富士八景の湯(御殿場市)、御胎内温泉健康センター(御殿場市)、天然温泉気楽坊(御殿場市)

山梨県:下部温泉会館(身延町)、富士展望の湯ゆらり(鳴沢村)、ふじやま温泉(富士吉田市)、

山中湖温泉紅富士の湯(山中湖村)、山中湖平野温泉石割の湯(山中湖村)

<景品交換日時・会場>

4月27日 8時～15時 @富士山こどもの国

4月28日 9時～ 4月29日 13時 @大池公園

6) 「富士山麓 日帰り温泉」による選手/ボランティア/サポーター応援企画

スタンプラリーには参加しないが、割引サービスを提供。

<参加施設>

山梨県:いずみの湯(富士河口湖町)、開運の湯 ロイヤルホテル河口湖(富士河口湖町)、

富士山溶岩の湯 泉水(富士吉田市)

3.大会日程

1)ナンバーカード引換・必携品チェック

・ナンバーカード引換・必携品チェック

4月26日(木)	13時～22時30分	大池公園	UTMF/STY
4月27日(金)	8時～10時30分	富士山こどもの国	STY
	8時～13時30分		UTMF

・必携品チェックのみ

4月26日(木)	12時～20時	御殿場時の栖	UTMF/STY
----------	---------	--------	----------

・ナンバーカード受取りは、翌日27日(金)スタート会場 富士山こどもの国 専用受付にて行います。

2)競技

UTMF (ウルトラトレイル・マウントフジ)		
4月27日(金)	8時～14時	荷物、ドロップバッグ預け
	14時30分	開会式
	15時	スタート
4月29日(日)	12時30分～13時	表彰式、閉会式
	13時	制限時刻

<表彰対象>

- ① 男子総合1～10位、女子総合1～5位
- ② ニューヒーロー(29歳以下で顕著な成績の選手男女各1名) ※新設
- ③ ベテラン(40～49歳) 男女1位～3位 * 総合入賞した選手は表彰対象外
- ④ マスター(50歳以上) 男女1位～3位 * 総合入賞した選手は表彰対象外
- ⑤ レジェンド(60歳以上) 男女1位～3位 * 新設 * 総合入賞した選手は表彰対象外 ※新設

STY (静岡から山梨)		
4月27日(金)	8時～11時	荷物預け
	11時30分	開会式
	12時	スタート
4月28日(土)	7時30分～	表彰式
	8時	制限時刻

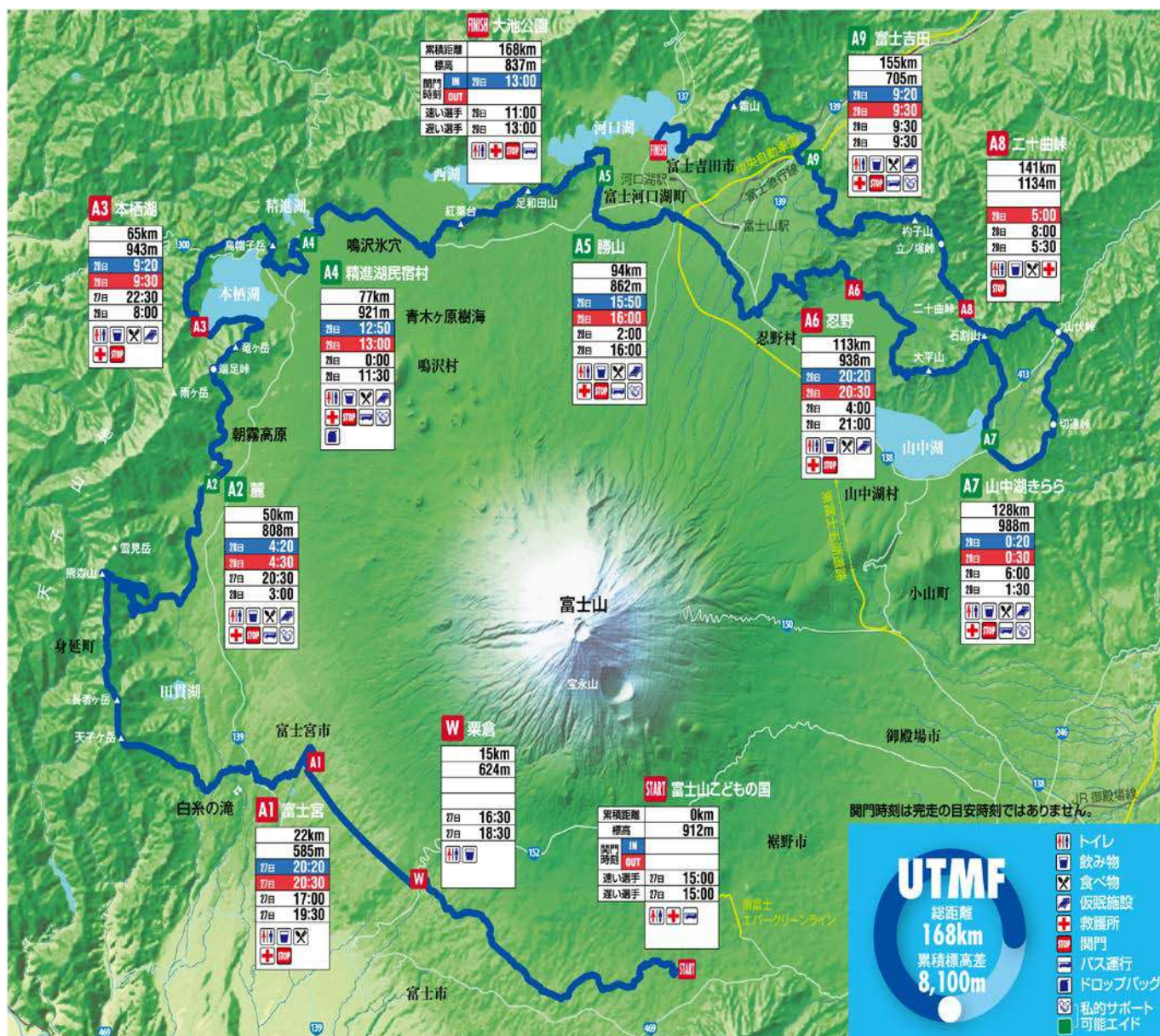
<表彰対象>

- ① 男子総合1～10位、女子総合1～5位
- ② ニューヒーロー(29歳以下、過去UTWT入賞経験のない顕著な成績の選手男女各1名) * 新設
- ③ ベテラン(40～49歳) 男女1位～3位 * 総合入賞した選手は表彰対象外
- ④ マスター(50歳以上) 男女1位～3位 * 総合入賞した選手は表彰対象外
- ⑤ レジェンド(60歳以上) 男女1位～3位 * 新設 * 総合入賞した選手は表彰対象外 ※新設



3)コース・進行表・エイド箇所

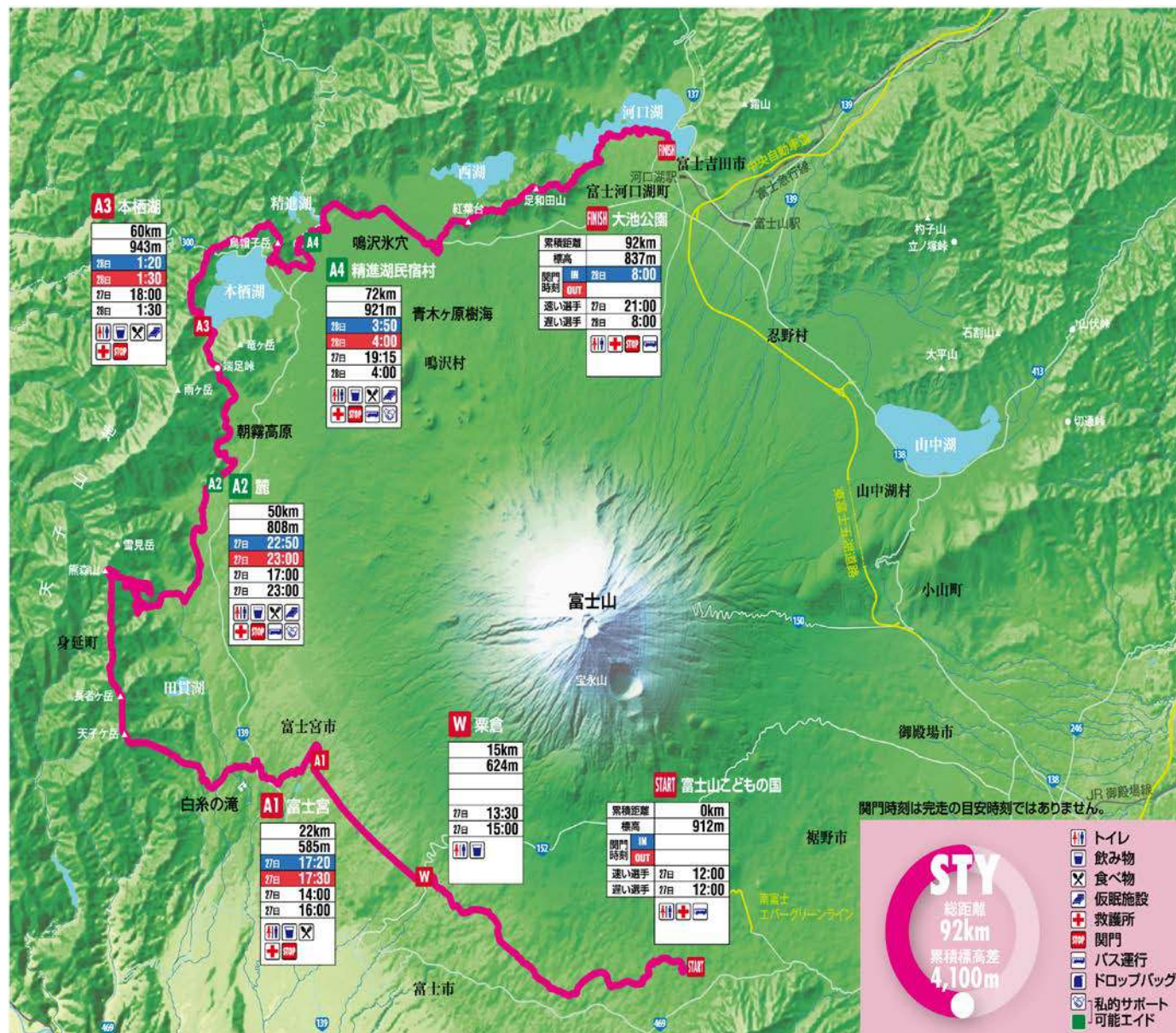
UTMF コース 距離:168km 累積標高:8092m 制限時間 46 時間



UTMF 進行表(2018/02/19 現在)

エイド種類	場所	サポート	ドロップバッグ	区間距離	累積距離	区間累積標高+	累積標高	早い選手予想経過時間	遅い選手予想経過時間	関門時刻 (OUT)	早い選手予想通過時刻	遅い選手予想通過時刻
START	富士山こどもの国			0	0	0	0	0	0		2018/4/27 15:00	2018/4/27 15:00
W	栗倉			15	15	259	259	1:30	3:30		2018/4/27 16:30	2018/4/27 18:30
A1	富士宮			7	22	105	364	2:00	4:30	2018/4/27 20:30	2018/4/27 17:00	2018/4/27 19:30
A2	麓	○		28	50	1873	2237	5:30	12:00	2018/4/28 4:30	2018/4/27 20:30	2018/4/28 3:00
A3	本栖湖			15	65	957	3194	7:30	17:00	2018/4/28 9:30	2018/4/27 22:30	2018/4/28 8:00
A4	精進湖民宿村	○	○	12	77	676	3870	9:00	20:30	2018/4/28 13:00	2018/4/28 0:00	2018/4/28 11:30
A5	勝山	○		17	94	646	4516	11:00	25:00	2018/4/28 16:00	2018/4/28 2:00	2018/4/28 16:00
A6	忍野			19	113	521	5037	13:00	30:00	2018/4/28 20:30	2018/4/28 4:00	2018/4/28 21:00
A7	山中湖きらら	○		15	128	622	5659	15:00	34:30	2018/4/29 0:30	2018/4/28 6:00	2018/4/29 1:30
A8	二十曲峠			13	141	842	6501	17:00	38:30	2018/4/29 5:00	2018/4/28 8:00	2018/4/29 5:30
A9	富士吉田	○		14	155	695	7196	18:30	42:30	2018/4/29 9:30	2018/4/28 9:30	2018/4/29 9:30
FINISH	大池公園			13	168	896	8092	20:00	46:00	2018/4/29 13:00	2018/4/28 11:00	2018/4/29 13:00

STY コース 距離:92km 累積標高:4099m 制限時間 20 時間



STY 進行表(2018/02/19 現在)

エイド種類	場所	サポート	ドロップバッグ	区間距離	累積距離	区間累積標高+	累積標高	早い選手予想経過時間	遅い選手予想経過時間	関門時刻 (OUT)	早い選手予想通過時刻	遅い選手予想通過時刻
START	富士山こどもの国			0	0	0	0	0	0		2018/4/27 12:00	2018/4/27 12:00
W	栗倉			15	15	259	259	1:30	3:00		2018/4/27 13:30	2018/4/27 15:00
A1	富士宮			7	22	105	364	2:00	4:00	2018/4/27 17:30	2018/4/27 14:00	2018/4/27 16:00
A2	麓	○		28	50	1873	2237	5:00	11:00	2018/4/27 23:00	2018/4/27 17:00	2018/4/27 23:00
A3	本栖湖			10	60	564	2801	6:00	13:30	2018/4/28 1:30	2018/4/27 18:00	2018/4/28 1:30
A4	精進湖民宿村	○		12	72	676	3477	7:15	16:00	2018/4/28 4:00	2018/4/27 19:15	2018/4/28 4:00
FINISH	大池公園			20	92	629	4106	9:00	20:00	2018/4/28 8:00	2018/4/27 21:00	2018/4/28 8:00



エイド箇所

UTMF スタート:富士山こどもの国/フィニッシュ:河口湖大池公園

- W 粟倉(富士宮市粟倉)
- A1 富士宮(富士宮市:大原学園富士宮ビガー倶楽部)
- A2 麓(富士宮市麓) * サポート可能エイド
- A3 本栖湖(身延町:いこいの森キャンプ場)
- A4 精進湖民宿村(富士河口湖町) * サポート可能エイド * ドロップバック
- A5 勝山(富士河口湖町) * サポート可能エイド
- A6 忍野(忍野村:村民ふれあいホール)
- A7 山中湖きらら(山中湖村:山中湖きらら) * サポート可能エイド
- A8 二十曲峠(忍野村)
- A9 富士吉田(富士吉田市:笹子スポーツ広場) * サポート可能エイド

STY スタート:富士山こどもの国/フィニッシュ:河口湖大池公園

- W1 粟倉(富士宮市粟倉)
- A1 富士宮(富士宮市大原学園富士宮ビガー倶楽部)
- A2 麓(富士宮市麓) * サポート可能エイド
- A3 本栖湖(身延町:いこいの森キャンプ場)
- A4 精進湖民宿村(富士河口湖町) * サポート可能エイド

大会事務局

NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部
〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 75ドットツリー修善寺 PJ-01(株)ソトエ内
TEL:0558-99-9117 FAX:0558-72-8466
E-mail:info@ultratrailmtfuj.com 営業時間:平日 10:00~18:00

II. 競技規則

基本ルール

- 以下の事項を理解し、責任を負うことを本大会参加の基本条件とします。
- 本大会に参加する選手は、競技中であっても日本国内の法律、自治体の条例、また一般社会正義に基づく活動責任を負います。
- UTMF も STY も山岳地を含む自然の中を一昼夜以上も走り続ける競技です。主催者は選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるよう準備しますが、レース中の危険を避け、自身の安全を守るのは選手の責任です。そのため、選手は予測されるトラブルや天候の悪化(低温、強風、雨や雪など)に対応できる技術・知識、装備、体力、自己管理能力を備えていることが求められます。また、その対応の結果には選手自身が責任を負います。

参考: 山中湖 4 月 28 日気象状況(2013-2017)

	山中湖(標高 992m)					
	降水量(mm)		気温(°C)		風速(m/s)	
	平均	最低/最高	平均	最低/最高	平均	最低/最高
0:00	0.1	0/0.5	5.3	1.4/9.1	0.2	0/0.5
3:00	0.2	0/1	3.6	-2.2/9.7	1.0	0/3.2
6:00	0.2	0/1	4.9	-1.2/10.3	0.3	0.1/0.4
9:00	0.5	0/2.5	13.6	11.3/20.4	1.9	0.9/3.4
12:00	0.3	0/1.5	16.1	13.7/22.7	2.9	2.6/3.8
15:00	0	0/0	15.5	12.5/21.0	2.5	0.2/3.5
18:00	0	0/0	13.1	10.4/17.1	1.2	0.2/1.6
21:00	0	0/0	8.1	3.8/12.4	0.4	0.0/1.0

※気象庁のデータを元に作成

※今大会のコースの大部分(約 57km)が標高 500m~1600m の間にあります。気温は 100m 上昇すると 0.6°C 下がると言われています。また、風は 1m 毎に体感温度が 1°C 下がると言われています。

- レースコースはマーキングテープ、指示看板などで誘導されています。さまざまな自然環境の下で誰に頼ることなくこれらをたどり、ルートを維持することは選手の責任です。また、ルートを外れた場合は地図などを使い、自力でルートに戻ることも選手の責任です。
- レース前、レース中に主催者から提供される公式情報を確認することも選手の責任です、本競技規則に沿ってなされる指示に従ってください。
- 選手は常に自然環境と、トレイルを共有する他者を尊重してレースを行ってください。
- 競技が適切に行われるように、主催者は可能な用具・用品の準備、コース整備を行い、必要に応じて各所にスタッフを配置します。また、救助および医療援助体制を準備します。
- 応急処置を行う救護所はすべてのエイドステーションにあり、医師または看護師が待機しています。ただし、エイドステーションで行うのは応急処置だけです。

1. 参加条件と選手の責任

ここには、主催者が提供する競技の運営環境と参加選手が守るべき事項があります。競技規則に従わないときやこれらの注意を怠ったときには、その場で失格となったり、レースタイムに 1 時間、3 時間、もしくは 6 時間のペナルティタイムが加算されることがあります。また、次年度からの参加を断ることがあります。



2. 自然保護について

本レースのコースは、富士箱根伊豆国立公園に指定された区域や希少動植物の生息するエリア等を有する貴重な自然環境の中で開催されています。

かけがえのない森林生態系に悪影響及ぼさぬよう、以下のルールを設定しています。

主旨を十分に理解した上で、以下のルールを厳守してください。

- 1.全コースにおいて UTMF、STY とともにストックの使用を禁止します。また、ストックの代わりとなる木の枝などの使用も禁止します。
- 2.コース内で仮眠することを禁止します。これは、自然環境に対する影響が大きく、しかも「緊急救護を必要としている」と間違われる可能性があるためです。
- 3.コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止します。自然保護上必要な箇所には、追い越し禁止その他の制限を設定します。
- 4.コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷することを禁止します。
- 5.ゴミは絶対に捨てないでください。
- 6.用便は各エイドステーションのトイレを利用してください。止むを得ないときは携帯トイレを使用し、紙を使った場合は必ず持ち帰ってください。
- 7.外来種子の持ち込みを防ぐとともに、居住市街地の植生を高山地帯へ持ち込まないため、事前に靴底を洗浄したシューズを持参してください、またその靴でスタートしてください。同じ理由で、コース途中、数か所の登山口に靴底洗浄用のマットを設置します。スタッフの指示に従って用意されたブラシで靴底の泥や植物種子を落としてください。
- 8.大会当日の大会開催に当たって、安全面で問題ない場合でも、トレイルの状況が多数の参加者の利用に耐える事ができないと判断した場合、歩行区間の設定やコースの変更、大会中止の判断をする可能性があります。

3. 他者と地域への配慮について

- 1.ケガ、病気などで身動きできない選手や大会関係者と遭遇した場合は、その救助を優先し、救護本部へ連絡してください。救護本部の電話番号はナンバーカードに明記してあります。
- 2.コース内で横になっている、あるいはしゃがみ込んでいる選手を見つけたときには、必ず声をかけて体調、症状を確認してください。救護が必要な場合はその作業を優先し、救護本部へ連絡してください。
- 3.コースは本大会が占有をしているわけではありません。一般利用者(登山者、ハイカーなど)に配慮しその通行を妨げてはいけません。追い越し禁止区間では選手だけでなく、一般利用者を追い越すことも禁止します。また、追い越し禁止区間外でも一般利用者を追い抜く場合は、道幅の広い安全な場所で、速度を落とし、歩いて追い抜いてください。追い抜くとき、すれ違うときには挨拶を忘れないでください。
- 4.コース上に存在するすべての建造物などに傷をつけないよう注意してください。
- 5.コースには私有地や自衛隊演習場など、通常は立ち入りが禁止されている特別な区域があります。指定されたコース以外には絶対に立ち入らないでください。
- 6.コース周辺には居住区域があることを認識し、大きな音をたてたり騒いだりしないでください。熊鈴禁止区間では、熊鈴が鳴らないようにしてください。

4. 誘導、救助及び医療援助について

医師と救護者には、これ以上競技を続けられない選手に競技を中止させる(棄権もしくは失格させる)権限があります。医師もしくは救護者に競技の中止を宣告された際は、IC チップをスタッフに返却してください。その際、ナンバーカードにリタイアだとわかる印をつけることがあります。

5. IC チップについて

- 1.IC チップと地面に敷いた計測マットにより、選手の記録測定、出走人数と完走人数の確認、および各エイドステーションやチェックポイントの通過確認を行います。
- 2.IC チップは両足のシューズそれぞれにひとつずつを装着しなければいけません。
- 3.レースを終了した選手は IC チップをスタッフに提出してください。
- 4.棄権した選手、失格となった選手は IC チップを各エイドステーションのリタイア受付に返却してください。

6. 関門と計測について

1. 関門ぎりぎりに到着する選手の安全を図るために、関門時刻はエイドステーションの入口と出口のふたつを設けます。それぞれ指定の時刻までに通過(関門に入る・関門を出る)できない場合は失格になります。
2. エイド出口を出ても、入口関門時刻前であれば、そのエイドに戻ることができます。エイドに戻るとき、そして再びエイドを出るときには、専用の通路を使って必ずスタッフにその旨を伝えてください。この場合、出口関門時刻前にエイドを出ないと失格になります。
3. 天候やコースの状況、レースの進行状況によって関門時刻を変更する事があります。その際はエイドステーションの公式掲示板、登録された携帯電話番号へ SMS でお知らせします。

7. コース上の誘導と案内について

1. 主催者は土地所有者および管理者の許可を得て、必要最低限のマーキングテープや表示看板を設置します。マーキングテープは特に迷いやすい場所を除き、およそ 100m に 1 本の間隔で設置します。マーキングテープが 200m 以上進んでも見当たらないときには、コースを間違えています。来た道に戻ってコースに復帰してください。
2. 主催者は、選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるようにコースを準備します。危険箇所には印をつける、ロープを張るなどしてリスクの低減を図っています。選手はそれらの指示に従ってください。主催者が必要と判断した場所にはスタッフやガードマンが立ち、選手の安全を確保するために交通整理をすることがあります、指示に従ってください。
3. 安全のためにスタッフやガードマンが立ち、選手を誘導している箇所でも、マーキングテープや看板を確認して正しいコースをたどることは選手の責任です。
4. 追い越し禁止区間、その他の制限を設定する案内が設置された区間ではその指示に従ってください。
5. レース開始後に選手に伝えなければならない情報は、エイドステーション、ウォーターステーションの公式掲示板に掲示します。また、特に重要な情報は、登録された携帯電話番号へ SMS でも配信します。エイドステーション、ウォーターステーションで公式掲示板や SMS を確認することは選手の責任です。



ULTRA-TRAIL Mt.FUJI 誘導板



マーキングテープ

8. リタイア(棄権)について

1. レースを続ける自信が持てず、レース途中で棄権する場合はその旨をスタッフに申告してください。以後レースに復帰することは出来ません。
2. エイドステーションでのリタイア
エイドステーションの計測スタッフにリタイアの申告をし、IC チップを返却してください。
3. コース上でのリタイア
コース上でリタイアできるのは緊急時、またはケガなどにより自力で移動できない場合のみです、救護本部に連絡をしてください。自力で次のエイドステーションに進めるのなら、そこでリタイアの申告をしてください。

9. 装備について

- 装備の総量はスタートのとき、そしていずれのエイドステーションを出るときにも 2 kg を超えていなければなりません。さらにコース上すべての場所において 1 kg 以下になってはいけません。
- レース途中で必携品のチェックを行います。必携品が欠けていた場合はその場で失格になることがあります。
- 必携品ウェアの保温性、防水性などのレベルは、選手自身の責任で決定してください。選手自身が選択し届け出たウェアを主催者はその選手の必携ウェアと判断します。
- 全ての装備は、持つだけでなく使い方を身につけておいてください。



以下は必携品のリストです。

必携品(装備として必ず携行するもの)

1. 詳細コースマップ。大会公式サイトに掲載されている詳細図を紙にプリントしてください。(* 1)
2. エントリーの際に番号を届け出た携帯電話。救護本部の電話番号(ナンバーカードに明記してあります)を登録し、番号非通知にせず十分に充電し、主催者からの SMS による緊急連絡を受けられる状態にしておいてください。
3. 携帯コップ(150cc 以上)。エイドステーションに紙コップの用意はありません。
4. 水。スタートおよび各エイドステーション、ウォーターステーションを出発するときには 1ℓ以上持っていなければいけません。
5. 食料。
6. ライト 2 個、それぞれの予備電池。低温では電池の寿命が短くなります。
7. 点滅ライト。夜間の一般公道で後方からの走行車両に認識されやすいよう、ザックなどにつけてください。
8. サバイバルブランケット(130cm 以上 × 200cm 以上)。
9. ホイッスル。
10. テーピング用テープ(80cm 以上 × 3cm 以上)。(* 2)
11. 携帯トイレ。(* 3)
12. 雨天に備えてフードつきレインジャケットとレインパンツ。どちらも〈ゴアテックス〉あるいはそれと同等の防水、透湿機能を持ち、縫い目をシームテープで防水加工してあるもの。
13. 保温のためのフリースなどの長袖シャツ。綿素材は認められません。(* 4)
14. 保温のための足首までを覆うズボンあるいはタイツ。または膝までを覆うタイツと膝までを覆うハイソックスの組み合わせ。いずれも綿素材は認められません。(* 5)
15. 保温のための手袋、耳までを隠す帽子。(* 6)
16. ファーストエイドキット(絆創膏、消毒薬など)。
17. 保険証(コピーは不可です)。
18. 配布されるナンバーカード、IC チップ。
19. 以上の必携品と下記にて紹介する「特に勧める携帯品」を収納できるザックまたはバック。

* 1 地図データを携帯電話などにダウンロードしておいても、それをマップとして認めないことにしました。電池切れ、通信・表示不良などで使えない可能性があるからです。必ず紙にプリントした詳細図を用意してください。雨天時でも使えるように透明なビニール袋などに入れてください。

* 2 骨折などケガの救急処置のためだけでなく、ザックのストラップなど、装備が壊れたときの補修など、多くの用途にも使える強いテープです。

* 3 使用した場合は次のエイドステーションで未使用のものと交換できます。

* 4 保温のための上半身の衣料は「暖かい空気の層」を作ることができる起毛したミッドウエアと称されるフリースやウール、薄手のダウンなどのことです。薄手のアンダーウエアは認められません。

* 5 保温のための下半身衣料は=A.足首までを覆うズボン、B.同じ足首までを覆うタイツ、C.丈の短いタイツとハイソックスのことです。

* 6 ウール、ポリエステル製ニットキャップなどのこと。

* 必携品とは最低限の装備のことです。この厳しいレース環境で、二昼夜(STY は一昼夜)走り続けることを認識し、自らの安全と健全な体調を確保するために、さらに必要と思われる装備を加えてください。

* コース上で疲労、ケガなどで動けなくなった場合、主催者は連絡を受けてから 3 時間以内に現場に到着できるように活動しますが、要請が多数重なったときや、現場がコースを外れているとき、悪天候のときはその限りではありません。救助隊が到着するまでに 6 時間以上もかかることもあります。寒風や氷雨の中で 6 時間コース上で待機しなければならないことも想定して、装備を選んでください。

特に進める携帯品について

必携品のリストは、全ての選手にとってこのレースを走るために十分な装備ではありません。各選手の技量や身体能力、当日の気候によって必要な装備は違います。各自必要な装備を見極め、追加して携帯してください。また、事前にそれらを着用して氷点下気温の高山、大雨の中での長時間に及ぶランニングなどを体験し、それらのウェアがほんとうに自分のカラダを守ってくれるのか否かを知っておきましょう。

以下は特に勧める携帯品のリストです

特に勧める携帯品

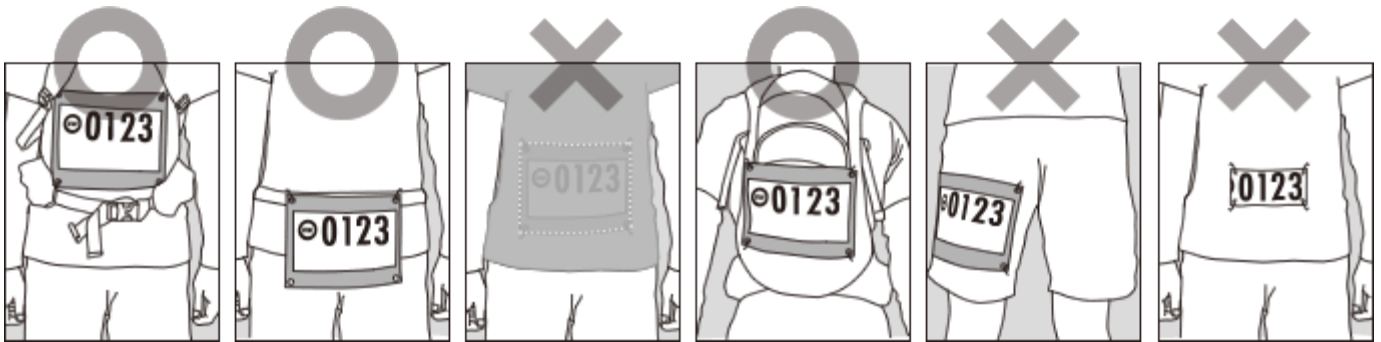
- 1.トレイルランニングシューズ
- 2.コンパス
- 3.熊鈴(*1)
- 4.着替え
- 5.日焼け止め
- 6.ワセリン
- 7.筆記用具
- 8.現金

*1 熊鈴は昼夜を問わず、近隣住民にとって非常に不愉快な騒音です。住宅地は熊鈴禁止区間として「熊鈴禁止」の看板を設置しますので、鳴らないようにしてください。

10. ナンバーカード(ビブ)の取り付けについて

間違ったナンバーカードの取り付け方をすると、失格になる可能性があります。

- 1.誤ったナンバーカードの取り付け方をすると、失格になる可能性があります。
- 2.ナンバーカード(ビブ)は上半身前面と背後に、それぞれ1枚ずつ、安全ピンやビブベルトなどを使って、よく見えるように、衣類で隠れないように、つけてください。
- 3.トランクス、タイツ、パンツなど下半身につけることは許されません。
- 4.カードの周囲を折りたたみ、サイズを小さくしてつけることは許されません。



11. ドロップバッグについて

- 1.UTMF の選手は、レース途中の「精進湖民宿村」で、スタート前に預けた荷物(ドロップバッグ)を受け取ることができます。
- 2.そこまでの区間で使い終わった用具をドロップバッグに戻すこともできます。
- 3.使用の有無を問わず、「精進湖民宿村」の関門閉鎖後にフィニッシュに返送されます。
- 4.STY にドロップバッグはありません。

12. その他の禁止事項

- 1.イヤホンの使用を禁止します。
- 2.ドーピングを禁止します。風邪薬の利用による意図しない禁止薬物服用も含めて、ドーピング行為を行うことのないよう十分に注意してください。
- 3.不正行為をすること(乗り物の使用、代走、その他法律、条例に抵触する行為)を禁止します。



13. 主催者の責任と義務

選手の故意ではないコース上の器物破損(対動植物、対物の事故、トレイルの崩壊など)に対して責任を負います。

14. エイドステーションと私的サポートについて

1. エイドステーションは食料と飲料が用意されています。ウォーターステーションは飲料のみが用意されています。
 2. 選手はエイドステーションの指定された私的サポートエリア内で、私的サポーターによる私的サポートを受ける事ができます。
 3. 私的サポーターが立ち入ったり、選手をサポートできるのは、定められた私的サポートエリア内だけです。主催者が用意するオフィシャルエイドエリアには選手しか入れません。
 4. 指定された場所以外で私的サポートをすることはできません。
 5. 主催者が用意するエイドステーションの飲食物は、選手自身がそこに行き、選手自身が受け取ってください。
 6. 私的サポーターは 30ℓ以上の容積の用具用品を持ち込んではいけません。
 7. 主催者は私的サポートエリアに私的サポーター用のトイレ、照明を用意します。なお、屋根のないサポートエリアもあります。雨天に備えて各自雨具等を用意してください。
 8. 私的サポートエリアは多くのサポーターが共同利用します。選手が到着する長時間前から場所取りをせず、他のサポーターと場所を譲り合ってください。選手がエイドステーションから出たら、すみやかに他のサポーターへ場所をあけてください。また、私的サポートエリア内ではエイドスタッフの指示に従ってください。
 9. 私的サポーターは主催者が用意する食料や飲料のサービスを受けることはできません。
 10. 私的サポーターは選手と並走することはできません。
 11. 私的サポートとして医療行為を禁止します。
 12. サポート活動の中で出たゴミは、エイドステーション内に置いていかず必ず持ち帰ってください。
 13. 火器の使用が制限または禁止されるエイドステーションがあります。
 14. 市街地や別荘地などの居住地域では、地元住民の方々に迷惑です。応援はご遠慮下さい。
 15. 私的サポートにも、選手と同様に他者への配慮と自然環境への配慮が求められます。
 16. コース上にある自動販売機、店舗の利用は可能です。ただし、故意にコースから外れることは禁止します。
- ※私的サポーターについて詳細はサポーターページをご確認ください。

<http://www.ultratrailmtfuj.com/supporters/course/>

注意事項、その他レースに関する情報

1. 大会の映像、写真、記事、記録などについて

1. 主催者は選手やサポーターの映像、写真、記事、記録などをテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどで公にすることがあります。
2. 大会の映像、写真、記事、記録などは著作権法などで保護されています、主催者の許可なく使用(放送、出版、インターネット配信なども)することはできません。
ただし、選手やサポーター自身が撮影した映像、写真を私的に使用する場合はかまいません。
3. 大会は国際トレイルランニングレース協会(ITRA)及びウルトラトレイル・ワールドツアー(UTWT)に加盟し、UTMB2019のクオリファイレースの申請を予定しております。大会公式リザルトはITRA,UTWTに提出・共有されます。

2. 環境保全について

大会に参加するときは、公共交通機関の利用や1台の車に乗り合わせるなどして、エネルギー消費と二酸化炭素排出の抑制にご協力ください。

3. 他者と地域への配慮について

レースを支えてくれる関係者や地元の人々、そしてボランティアに対する感謝の気持ちを忘れないでください。



4. 救助及び医療援助について

- 1.コース上で救助が必要な場合を想定して、救助スタッフは3時間以内に現場に到着できるように待機しています。ただし、救助要請が重なったとき、コースから離れた場所からの救助要請、また救助場所が特定できない場合は、スタッフの到着までに6時間以上かかることもあります。
 - 2.救護本部への電話の中には、緊急でも救助でもなく「閉門時刻に間に合わないから車に収容してほしい」=もちろん失格になります、などが多数ありました。いずれもお断りしましたが、このような連絡が増えるほど、救助スタッフは時間をとられ、電話はつながらなくなり、本当に救助を必要としている人の救助を遅らせてしまいます。救護本部に電話をかけるときには、本当に自分に救助が必要かどうか、もう一度考えてから行ってください。
 - 3.救護本部に電話をするときは、地図を手元に出して、現場がどこなのか正しく説明できるようにしてください。
 - 4.詳細図に記載されている地点番号(B05などの番号)は、現地の看板にも記載されています。救助要請の際にはこの番号を使って現場を説明してください、スタッフもスムーズに対応できます。
 - 5.主催者が必要だと判断すれば、大会関係者以外の救助隊を呼ぶことがあります。この場合、かかった費用は救助された方の負担となります。
 - 6.医師またはスタッフが必要と判断すれば病院へ搬送することもあります。その際の医療費は自己負担になります。また、病院からフィニッシュ会場または自宅までの移動は選手自身の判断と責任で行ってください。その費用も選手の負担となります。
 - 7.コース上で車に収容されたなかで、病院搬送の必要がない選手は主催者の判断で近くのエイドステーション/ウォーターステーションに運ばれます。棄権もしくは失格とみなされるので、その計測スタッフにICチップを返却してください。
 - 8.主催者は賠償責任および選手の傷害保険、大会中止保険に加入していますが、選手のみなさんは保険に入っておくことをおすすめします。
- 主催者が加入している障害保険の補償範囲は以下の通りです。

- 死亡、後遺障害:500万円
- 入院(日額):3,000円
- 通院(日額):2,000円

5. コース上の誘導と案内について

- 1.コース誘導テープや看板は大会直前に設置され、終了後すぐに撤去されます。
- 2.コースアウトしたときに速やかに復帰できるよう、必携品のコース詳細図を活用してください。
- 3.事前に詳細図をよく読み、コースを十分に把握しておいてください。

6. 大会中止・中断・コース変更の基準

- 1.下記の理由により主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合は、大会を中止または中断します。大会開催日を翌週などに延期することはありません。
- 2.気象警報発令時。
- 3.コース途中の崖崩れ、落石など、選手とスタッフの安全を確保できないと判断される時。
- 4.災害時。東海地震予知情報/警戒宣言、東海地震注意情報/発令時など。
- 5.荒天下などで選手通過によって自然環境を損なう可能性があるとき。
- 6.その他、主催者が中止すべきだと判断したとき。
- 7.大会中止・中断の判断は大会開催日または前日までに大会公式サイトおよび専用サイト(PC、携帯)で発表します。スタート当日に発表する場合は、選手それぞれの登録された携帯電話番号にSMSでも配信します。

7. 大会開催による影響調査について

大会開催前と後にコースの整備、清掃イベントを行う予定です。選手の参加は義務ではありませんが、大会の意義を考え、多くの方に参加していただくことを望みます。

2015年の清掃イベントの内容は以下のアドレスから見るができます。

<http://www.ultratrailmtfuj.com/environmental/activities/>

環境省のガイドラインなどに沿って、大会による自然への影響の調査を継続的に行い、その結果を大会公式サイト内で公表します。



8. 申し込みのキャンセル・変更について

- 1.入金手続き完了後は、いかなる理由であっても種目の変更、申し込みのキャンセルはできません。参加費は返金いたしません。
- 2.払込期限後に支払手続きをされても申し込みは無効となります。この場合、所定の事務手数料を差し引いて返金いたします。
- 3.大会参加の権利を第三者に譲渡することはできません。

9. レース後について

- 1.フィニッシュ会場に休憩所がありますが、多くの方が休憩できるように仮眠は控えてください。
 - 2.フィニッシュ、リタイヤ、失格後の宿泊に困ることがないように、必ず全日宿泊場所を予約してください。
 - 3.レースを中止(失格、棄権)した場合、その場からフィニッシュ会場まで収容バスまたはサポートの車を使って戻ることが出来ます。タクシーなどの費用は自己負担です。
 - 4.レース終了後、ドロップバッグはフィニッシュ会場に運ばれます。通常、2 日目(土曜日)の夕方に到着しますが、遅くなる可能性もあります。
 - 5.ドロップバッグを受け取るにはナンバーカードの提示が必要です、UTMF の選手はそれまではナンバーカード捨てずに保管してください。
- ドロップバッグがフィニッシュ地点に到着するのを待たずに帰る選手は、フィニッシュ地点の〈インフォメーション〉で宅配便の手続きをしてください。



Ⅲ.安全管理体制及びコースの迂回について

1.組織図について

大会期間中組織図

(2018年2月22日現在 調整中)

2.コースについて

・全コースを担当を分けて事前コース調査を行い、コースの安全を確かめた上で大会を開催いたします。

コース実地調査者(2017年3月末現在予定)

福田六花(大会副実行委員長兼山梨県側コースディレクター)

千葉達雄(事務局長兼大会ディレクター兼静岡県側コースディレクター)

長岡健一(大会安全管理ディレクター/UIAGM 国際山岳ガイド連盟・国際山岳ガイド)

岡嶋智己、倉原卓也、宮内 佐希子(以上大会事務局)

・以下の区間に関しては大会開催3日前までに土壌のぬかるみによる歩道への影響がある「または沢からの出水が予想される」と判断した場合迂回コースに変更する。(詳細コースマップ参照)

①天神山自然観察の森

②天子山地(天子ヶ岳～長者ヶ岳～熊森山)

③富士宮市麓地区

④竜ヶ岳

⑤中ノ倉山

⑥山伏峠付近

⑦杓子山

・参加者に対して事前コースの気候・天候の特徴を周知します。

3.エイドステーション・救護体制について

・選手の給水給食休憩の為に、以下の場所にエイドステーション(A)とウォーターステーション(W)を設置する。エイドステーションには、選手の通過時間帯に医師または看護師、救護スタッフを常駐させる。

※A=エイドステーション、W=ウォーターステーション

	名称	市町村	医師・看護師の配置	通過人数(最大)
スタート	富士山こどもの国	富士市	医師・看護師	2,400名
W	粟倉	富士宮市	救護スタッフのみ	2,400名
A 1	富士宮	富士宮市	医師・看護師	2,400名
A 2	麓	富士宮市	医師・看護師	2,400名
A 3	本栖湖	身延町	医師・看護師	2,400名
A 4	精進湖民宿村	富士河口湖町	医師・看護師	2,400名
A 5	勝山	富士河口湖町	医師・看護師	1,400名
A 6	忍野	忍野村	医師・看護師	1,400名
A 7	山中湖きらら	山中湖村	医師・看護師	1,400名
A 8	二十曲峠	忍野村	医師・看護師	1,400名
A 9	富士吉田	富士吉田市	医師・看護師	1,400名
フィニッシュ	大池公園	富士河口湖町	医師・看護師1名ずつ	2,400名

<救護および医療援助の基本体制>

- 1) 競技上のリスクが適切にコントロールされるために、大会実行委員会では可能な限りのコース整備と、救助および医療援助体制を準備する。選手はトレイルランという自然の中で行われる競技に危険が伴うことを十分に認識し、傷病、事故などに対して、自己の責任において大会に出場する。
- 2) 応急処置の救護所は基本的にエイドステーションに置かれている。これらの救護所は AED が置かれ大会本部、救護本部と無線および電話でつながっている。大会開催中、救護本部は山梨県富士河口湖町に置かれている。
- 3) 応急処置は、参加登録の有無に関わらず、本大会に関係するあらゆる人々を危険な状況から救助するために行う。
※環境やその状況により、援助が到着するまでに時間が長くかかる場合がある。
そのような時のため、選手のザックにはファーストエイドキットを装備することが義務づけられている。
- 4) 医師と救護者には、下記の権限がある。
・これ以上競技を続けられない選手に、競技を中止させること
(チップとナンバーカードを外すことによって)
- 5) レースを中止した場合、その場からフィニッシュ会場まで収容バスまたはサポートの車を使って戻ることが出来る。タクシーなどを呼ぶ場合の費用は自己負担とする。
- 6) 要救護者にその必要があると判断された場合、救助隊を呼ぶことがある。このような場合にかかった費用は救護された人が負担する。
大会本部に連絡がとれなかった場合、119などで直接救急サービスを呼びだすことを優先してもよい。
- 7) 大会主催者の加入する選手の事故・傷病への補償をする傷害保険の範囲は以下となる。
・死亡、後遺障害 500万円
・入院(日額) 3,000円
・通院(日額) 2,000円

<通過人数・行方不明者の特定>

計測チップにより、出走人数完走人数の管理、および各エイドステーション(9箇所) およびウォーターステーション(1箇所)の合計10箇所にて通過チェックを行う。選手の記録とともに氏名の判別もでき、個人を特定することが可能である。また次のポイントへの到着が異常に遅い場合はアラートが発生するシステムを使用する。

<参加する選手へのルール> レース中、自分自身で対応不可能な状況にある他のランナーと遭遇した時、その救助を

優先することは選手の義務である。緊急事態の場合、近隣のランナーに積極的に援助を頼んでよい

<医療に関して>

100 マイルを超える山岳レースに臨む選手に対して的確な医療を提供し走行をサポートする。ただし、体調不良、怪我などで、これ以上のレース継続が困難な選手に対して、医師は当該選手に中止を宣告する権限を有する。

~予想される体調不良と基本的対応方法~

脱水、熱中症 経口水分補給、塩分・糖分の補給、および安静 上記にて回復がみられない場合は必要に応じて点滴施行

低体温症

保温、温かい飲料、安静

上記にて回復がみられない場合は必要に応じて点滴施行

切傷、擦過傷、挫傷 創部消毒(イソジン、クロマイP軟膏)、ガーゼ保護、ワセリン処置

捻挫、筋挫傷、骨折

湿布、コールドスプレー、テーピング、三角巾固定

胃腸障害

胃腸薬・市販薬(備品) 必要に応じて点滴施行

蜂刺症

ポイズンリムーバーによる徐毒、創部消毒、アナフィラキシーショックの

場合は救急搬送

四肢の痙攣、こむら返り

芍薬甘草湯(備品)

<注意事項>

エイドステーションにおける医療処置はあくまで簡易的、応急的なものであり、後日専門医の受診が必要と思われる場合は、当該選手にその説明をする。

可能な限りエイドステーションから走り出す選手の状況観察を行い、その時点での走行が危険と思われる選手を見かけた場合は休憩もしくは中止勧告を行う。

エイドステーションでの対応が困難な場合は、病院搬送(運営車輛、救急車)を行う。

点滴施行した場合には当該選手のレース続行は中止となり、その旨、点滴施行前に選手に説明をする。

IV. 自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために

I. 行動規範及び配慮事項

1. 持続可能な大会運営のための行動規範

ウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)を持続可能な大会として運営していくため、環境に関する行動規範を以下のように定める。

- 世界中のトレイルランニング愛好者に対し、富士山麓地域においてトレイルランニングの持つ魅力を提供する。そのすべては持続可能であり、環境的、文化的に地域と共存しなければならない。
- 運営において妥当な倫理基準を守り、社会的悪影響を最小に抑える。
- 大会コースの使用においては社会的な公正さを確固たるものにしていく。
- コース周辺地域の環境保護と地域活性化の両者を促進するために、環境と地域文化を尊重し細心の注意を払う。
- 再生できない資源の利用をできる限り減らす努力を行う。
- 環境における限界容量を認識し、細心の注意を払って環境を認識し、それを効果的、継続的なモニタリングを行う。
- 大会を通じて直接的、間接的方法で主催者、選手、トレイルランニング愛好者、地域の方々の富士山麓地域の自然環境保護の意識、行動を変えてゆく。

2. コース設定に関する自然環境への基本的な考え方

- 国立公園特別保護地区や第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ場所は、原則回避する。
- 部分的に特別保護地区や第1種特別地域等を通過する場合においては植生帯への踏み出しや土壌侵食の影響しない箇所に限り部分的に利用する。
- コース設定に関して関係各機関や地域に事前にヒアリングを実施する
- コース設定に際しては「国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて」(2015 環境省)の基準に則って策定する。

3. コース設定の際の配慮事項

- 以下の場所については、コースを設定しないよう配慮する。
 - ① 走行に対して脆弱な場所(湿原、泥濘の箇所、高山植物群落等)
 - ② 保全上重要な自然環境にある場所や、すでに激しい洗掘を受けている場所
 - ③ 崩落や落石の恐れのあるガレ場
- 歩道の複線化や拡幅が懸念される場所についてはコースを外さないよう処置を行う。

4. 大会開催の際の配慮事項

- 他の利用者が多い路線や混雑期を回避する(詳細コース図参照)。
- 開催日時、コース、他の利用者への留意事項等をウェブ等で告知する。
- 歩道はみ出しの懸念がある箇所は、原則追い越し区間として設定する(詳細コース図参照)。
- 選手のシューズ等に付着する外来種の飛来を防ぐため、大会装備品チェック時に汚れた靴については洗浄を実施するほか、コース中トレイルの入り口にはマットを設置する。
- 全区間ストック及びストックの代わりとなる木の枝などの使用を禁止する。
- コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止する。
- 自然保護上必要な箇所では、追い越し禁止その他の制限を設定する。
- コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などの採取及び損傷を禁止する。
- コース上でのゴミ捨てを禁止する。
- 用便は各エイドステーションのトイレを使用させる。止むを得ないときは携帯トイレを使用させる。携帯トイレを必携品とする。
- 大会終了後にボランティア参加による全コースのゴミ拾いを実施する。



5. その他の配慮事項

- 野鳥の繁殖時期開催を考慮して大会開催を実施する
- 大会時雨天時、および土壌のぬかるみが大会3日前に予見または認めらる箇所はコースを変更する。
- コース内にはツキノワグマの生息地が含まれる事を認識し、選手・スタッフの安全管理を図る。
- 歩道管理者、土地所有者、関係自治体等と十分な事前調整を行う。
- 必要に応じて専門家から意見を聴取する。

6. モニタリングの実施

- 自然環境等への影響に係るモニタリングを実施する。
- モニタリングにより万一現場の顕著な改変等が見られた場合には、大会主催者が復旧する。

II. モニタリング(環境影響モニタリング・利用影響モニタリング)

1. 基本的な考え方

- 当大会のモニタリングは「国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引き」(平成29年3月 環境省自然環境局国立公園課発表)に基づいて実施する。
- モニタリングには、自然環境・歩道への影響を把握する『環境影響モニタリング』と大会当日の一般利用者への影響を把握する『利用モニタリング』を実施する。
- 自然環境モニタリングとは、対象エリアの状況を大会前後で比較し、変化が自然に起きたものなのか大会によって発生したものを判断し、大会によって発生した場合、それが許容できる範囲かどうかを評価するものである。
- 利用影響モニタリングでは、大会等による登山者や一般利用者の利用への影響を大会当日のランナーと登山者・一般利用者が混在する地点で観察するとともに、登山者・一般利用者へのヒアリングすることにより把握する。
- 本大会の環境影響モニタリングは、歩道部分の形状の改変の有無と歩道脇へのはみ出しやその植生構造の消失や変化の検証を目的とする。
- モニタリングは長期的に実施することでより有効な評価に繋がる。そのため長期間に渡って継続的なモニタリングを実現できるよう、簡単で費用がかからず、専門家でなくても繰り返し実行できる手法を採用する。
- 大会前にモニタリング計画書を大会後にモニタリング報告書をそれぞれ大会公式サイトにて公表する。
 ウルトラトレイル・マウントフジ公式サイト内: 環境ページ
<http://www.ultratrailmtfuji.com/environmental/activities/>

2. 環境影響モニタリングポイントの選定方法

<コース区分>大会使用コースは、以下の5つの区分に分けられる。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ① 登山道・未舗装歩道 | 人のみの通行を前提にした歩道・登山道(未舗装)。 |
| ② 林道・作業道 | 車両通行可能な林道や歩道(未舗装) |
| ③ 送電線遵守路 | 送電線下の巡視路(未舗装) |
| ④ 道路・舗装歩道 | 舗装された道路及び林道(舗装された歩道も含む) |

<選定基準>上記区分①の中から、以下の基準よりモニタリングポイントを選定した。

- a. やむをえずコースに選定した特別保護地区、第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ地域
- b. 歩道の幅員が狭い地点(手前の幅員が狭く、急に狭くなる地点)
- c. 路面に泥濘が生じている地点・雨天時にぬかるみが生じやすい地点
- d. 顕著な洗堀が認められる地点
- e. 概ね斜度 10 度以上がある登りや下り斜面
- f. 下り方向のカーブや緩やかなカーブが連続している地点
- g. 木製等の階段が設置されている地点
- h. 路面上に樹木の根が張り出している箇所
- i. 希少な植物や動物が確認されている箇所
- j. 登山道不明瞭でが踏み外しや複線化が懸念される箇所

- k.地権者や地域住民・専門家等により得に要望のあった箇所
 l.岩が多い箇所
 m.直前に同じ区間で大会等が開催されている地点

<環境影響モニタリングポイント>

エリア番号	エリア名称	自治体	モニタリング箇所	国立公園の区分	選定基準	前年モニタリング
1	天子岳	富士宮市	5	第3種特別地域	b.e.j.k	
2	熊森山	富士宮市	5	第3種特別地域	b.c.e	
3	根原～端足峠	富士宮市	5	第3種特別地域	k.m	
4	竜ヶ岳	富士宮市	5	第3種特別地域	b.c.g	
5	中ノ倉～佛峠	身延町	5	第2種特別地域	c	○
6	青木ヶ原樹海	鳴沢村	5	特別保護区	a	○
7	足和田山-1	富士河口湖町	5	第2種特別地域	f.g	○
8	足和田山-2	富士河口湖町	5	普通地域	c	○
9	明神山(鉄砲木の頭)	山中湖村	5	普通地域	g	
10	明神山(鉄砲木の頭)～切通峠	山中湖村	5	普通地域	f.k	
11	石割山	山中湖村	5	普通地域	c	
合計モニタリング箇所			55			

3. モニタリング方法

①:環境影響モニタリングポイントで実施する事項(事前・事後)

- ・ 日時、モニタリング参加者、天候・気温・標高の記録
- ・ モニタリング地点の緯度・経度、幅員、傾斜角度
- ・ 複数の角度からの概況写真撮影

②:利用影響モニタリングの実施場所およびヒアリング事項

- ・ 実施場所
 1)足和田山 2)明神山(鉄砲木の頭) 3)石割山
- ・ ヒアリング事項
 1)本日トレイルランニング大会が開催されることを知っていたか。
 2)今日のトレイルランニング大会でランナーと接触しそうになった等何か通行上のトラブルがあったのか。
 3)今日のトレイルランニング大会でランナーや応援者のマナーなどで気になったことがあったか。
 4)トレイルランニング大会を行う場合どのように気をつけてほしいか。
 5)大会に係る道しるべ(矢印等の進路指示)等により、混乱(分岐点等で自身のルートを惑わせた等)しなかったか。
 6)スタート、ゴール地点等の仮設工作物やトレイルランニング大会の関係者(ランナー含む)が集まっている場所において、通行に支障はでなかったか。

4. 調査日程

- ・事前調査:2018年4月12日～27日(予備日含む)
- ・事後調査:2018年4月28日～5月18日(予備日含む)
- * 事後調査に関してはコース通過後なるべく速やかに実施する。



※参考文献

- ・ 東アジアの自然公園・保護区域における観光事業のガイドライン(2001 国際自然保護連合)
- ・ 国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて(2015 環境省)
- ・ 国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引き(2017 環境省)
- ・ 生物多様性地域戦略策定の手引き(改定版)(2014 環境省自然環境局)
- ・ 提言書(2011 狩猟と環境を考える円卓会議)
- ・ 富士山総合環境保全指針(修正版)(2012.静岡県)
- ・ ウルトラトレイル・マウントフジ植生保全環境調査概要報告 黒塚・須山口登山歩道編(2015 富士山エコレンジャー連絡会)
- ・ まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-(静岡県 平成 16 年)
- ・ 山梨県レッドデータブック(山梨県 平成 17 年)